

化粧品紹介記事(美白化粧水) 薬機法対応版

ペルソナ 森重 優香(24歳)

1. 20代女性。
2. 美容に興味があり、将来シミなどができるのが嫌なので今からケアしておきたい。
3. 独身・一人暮らしで、化粧が好き。
4. 普段は営業で外回りをする事も多い。
5. 中学から高校までテニス部所属。昔から日焼けが多い→だからこそシミが怖いです👉?^_^
またまでま
6. 年収342万円
7. スキンケアには毎月7,000円くらいなら払ってもいい。(出典:
<https://context-japan.co.jp/ryokin/skincare-17079.html>)
8. スキンケアは化粧水→美白美容液→乳液のケアが一番続きやすい。
美容液が5,000円くらいだから化粧水は2,000~3,000円のものを探し魔さいる。(化粧水と乳液は毎月交互に買うことを想定。美容液と美容院の費用を交互に出すことを想定)
9. 化粧水や乳液は

ペルソナのBDF

Bel

- シミがあると老けてキープしたい
- 美白美容液を使っているからシミ対策は完璧だ

Desires(欲・夢、悩み・不満、興味)

- 最近しみっぽいものが気になる→美白美容液を使ってるけど効果がないのかと思っている
- 営業で車の冷暖房に当たるので乾燥も気になる(肌悩み順位1.シミを作りたくない 2. 乾燥)
- 美白美容液を探したときに色々種類があったが正直どれを使えばいいかわからず、とりあえずビタミンCを使っている

Feelings(感情、気持ち、好み)

- 将来シミを増やしたくないから遅いかもしれないけど今から対策したい
- パックとか気持ちいいけどそれより寝たいから毎日簡単に続けられるほうが好き
- スキンケアした後の肌はしっとりしている

構成と制作意図

<h1>今更聞けない!美白化粧水と美容液の違いとおすすめ化粧水3選

- 美白化粧水と美容液の違いを分かっていない人が多いので、違いを説明します。
- その上で美白化粧水の必要性を理解してもらい選ぶポイントを提示します
- おすすめ商品を紹介することで商品購入につなげます

<h2>20代こそ美白化粧水で白玉肌を手に入れるべき

- 美白化粧水と美白美容液の違いを説明します。
- 美白美容液のみを使っている人が多いので、化粧水を使う必要性を訴求します。
- 年代別に見た際にシミ悩みが1位になるのは30代(出典:
https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&ved=2ahUK EwjVv4eXpqP5AhU0pVYBHb2mDjlQFnoECBAQAQ&url=https%3A%2F%2Fprtimes.jp%2Fa%2F%3Fc%3D26711%26r%3D4%26f%3Dd26711-4-pdf-0.pdf&authuser=1&usq=AOvVaw2_rFcPyabCV0Tr5u9BcQR9)なので、今は肌表面に出にくいようにするための予防として美白化粧水使用を推奨します。

<h2>肌悩みに合った美白成分を選べばメイクが楽しい肌になれる

- 美白化粧水といっても有効成分は沢山あるので、有効成分の解説を行います。
- 有効成分の組み合わせを提案することで「美白化粧水未使用」×「美白美容液使用」に化粧水使用のきっかけを提案していきます。

<h3>ビタミンC:シミもニキビも気にならない肌に

- ニキビや皮脂抑制の効果を訴求し、20代前半の美白×ニキビの悩みの人に訴求します。

<h3>トラネキサム酸:チークをつけたくなるような透明感のある肌に

- 抗炎症作用について訴求を行い、美白×赤みの悩みの人に訴求を行います。

<h3>プラセンタ:ファンデがスルスルのびる、なめらか肌に

- 高い保湿力を訴求することで、美白×乾燥ケアに適していることを訴求します。

<h2>【コスメコンシェルジュ厳選】おすすめの美白化粧水3選

上記3点の成分を含んで2,000~3,000円くらいのを提案していきます

- ファンケル ホワイトニング 化粧液 II:ビタミンC配合化粧水
- トランシーノ 薬用ホワイトニング クリアローションEX[医薬部外品]:トラネキサム酸配合化粧水
- ロゼベ プラセンタ エンリッチ ローション :プラセンタ配合化粧水

<h2>美白化粧水でスキンケアもメイクも好きになる

- 美白化粧水の特徴と成分の違いを再度まとめます。
- 記事を読んだことで美白化粧水の使用を促します。

薬機法における参考URL

・化粧品の効能効果範囲

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb7518&dataType=1&pageNo=1

・医薬品等適正広告基準

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/koukokukisei/index.html

・化粧品工業連合会『化粧品等の適正広告ガイドライン』

https://www.jcia.org/user/common/download/business/advertising/JCIA20200615_ADguide.pdf

・化粧品公正取引協議会『化粧品の表示に関する公正競争規約』

<https://www.cftc.jp/kiyaku/kiyaku01.html>

次ページより記事になります。

今更聞けない!20代こそ美白化粧水を使うべき理由とおすすめ3選

「学生時代にたくさん日焼けをしてきたから透明感のなさが気になる」「だけどどんな対策をしたらいいかわからない」そんなお悩みありませんか？

透明感の無さに気付きながらも何もしていないと、やがてシミとして表面化してきます。シミがあると13歳も老けて見えるという調査結果もあるので、なるべく早く対策をしたいですね。

そんなお悩みを手軽に解決できるアイテムに美白化粧水があります。「透明感＝美白美容液」というイメージが強いですが、美白化粧水も頼もしい味方なのです。

透明感のある肌に早く近づきたい人は、美白化粧水の使用がおすすめです。美白美容液をはじめるより美白化粧水から使い始めたほうが肌に違いを感じる人が多いです。

今回は、美白化粧水の特徴や美容液との違い、おすすめアイテムをコスメコンシェルジュがお伝えします。

20代こそ美白化粧水で白玉肌を手に入れるべき

20代のシミが目立ってきていないうちこそ、美白化粧水で白玉のような透明感のある肌作りをしておくのがおすすめです。どこに出てくるか予想できないシミ。それなら美白化粧水で全体的にしっかりケアをしておくほうがおすすめです。まずは美容液より化粧水がおすすめの理由をご紹介します。

美容液は有効成分の濃度が高く、これから肌表面に出てくるシミのタマゴ・メラニンの生成を抑えてくれます。しかし20代のように、シミが目に見えてない場合は効果を実感しにくいです。濃度が濃い分お値段も少し高めなものが多く、プチプラだと選択肢が少ないのが難点。

一方化粧水は本来の目的の「肌を保湿する」に「美白成分をプラス」しています。肌に透明感¹を与えるくれるので、肌変化も化粧水のほうが実感できます。美白成分の濃度は低めですが、その分プチプラでも種類が豊富で好みの使用感を探しやすいです。

本格的にシミに悩み始めるのは30代。20代のシミが目立っていない時こそ、うるおいに満ちていながらこれから出てくるシミが気にならない白玉のような肌に導いてくれる美白化粧水を使いましょう。化粧水本来の役割である「肌を保湿する」チカラで他の年齢層にはないみずみずしい肌のよさを引き出してあげましょう。

¹ 透明感とはキメが整うことで肌が保湿されること

肌悩みに合った美白成分を選べばメイクが楽しい肌になれる

美白成分にも「なぜ美白できるか」のはたらきかける部分が違う、とご存知ですか？これから表面化してくるシミにアプローチできる化粧水の有効成分を見てみると、実は違う成分でできている商品が隣同士で並んでいることがよくあります。それくらい美白成分は多種多様なのです。

今回は20代に多い肌悩みにアプローチできるビタミンC、トラネキサム酸、プラセンタの肌へのはたらきについて紹介します。美容液を既に使っている人も化粧水は違う成分のものを使うことで「あれ、なんだかキレイになったね」と友達から褒められることも。

ビタミンC：無駄に肌を触らないツルツル肌に

20代に多いポツポツの悩み。コンシーラーで隠したくなるシミもポツポツも気になる人にはビタミンC配合の化粧水がおすすめです。

ビタミンCはこれから出てくるメラニンの色素の生成を抑えることでシミを予防します。濃い色素を作らせないことで、肌表面で暗く目立つことを防いでくれます。大きく主張してくるのを防ぐだけでなく、肌をなめらかにしてくれます。その結果、ポツポツのできにくい肌状態に近づきます。

いま眠っているシミのタマゴもポツポツも気になる、そんな風に悩んでいる人こそビタミンC配合の美白化粧水を使いましょう。肌のノイズが気にならないから、毎日鏡の中の自分を「可愛い」と褒めたいくなります。

トラネキサム酸：チークをつけたくくなるような透明感のある肌に

トラネキサム酸はメラニン生成の指令を止めることにより、シミの工場(メラノサイト)が働かなくなりシミを防ぐことができる成分。濃い色素を作らせない分、色ムラが気になりにくくなります。

なにもしていなくても頬にチークを塗っているように見える人にもおすすめの成分。外的刺激から肌を保護する効果がトラネキサム酸にあります。

天然チークがあるとわざわざチークをつけたくなくてファンデーションだけで済ませてしまい、結果顔色が悪い印象に。肌に血色とツヤをプラスするチークを思い切り楽しんで、メイクをもっと楽しめる肌に導きます。

プラセンタ:ファンデがスルスルのびる、なめらか肌に

プラセンタというと保湿効果を思う人が多いかもしれませんが。胎盤から抽出したエキスなので、さまざまな栄養がギュッと詰まっています。そのため肌に栄養が行き届き、水分の蓄えやすい健やかな肌状態に導いてくれます。

美白効果を期待する際には、「チロシナーゼ」というメラニンの色素の基になる酵素にアプローチします。酵素のはたらきを抑えるので、メラニンを作る指令が出せずシミを予防することができます。

シミ²が気になるとどうしてもファンデーションで隠したくなり、そこに一生懸命載せてしまいます。乾燥しているとパフが引っかかってしまうので、スルスル伸ばすことができません。

プラセンタの配合されている美白化粧水を使うことで、ファンデをしっかりと載せたい部分を減らすことができます。肌に自信をもって自分をもっと好きになりたい人におすすめです。

【コスメコンシェルジュ厳選】おすすめの美白化粧水3選

それではどのような美白化粧水がおすすめなのでしょうか？今回はコスメコンシェルジュがおすすめする美白化粧水を3つご紹介します。

ファンケル ホワイトニング 化粧液 II



これから出てくるシミやメイク時に必要以上に肌を触ってしまう人におすすめの化粧水。

² メラニン生成を抑え、シミ、ソバカスを防ぐこと

安定・浸透・効果のために独自の「アクティブビタミンCα³」を配合しています。

肌の気になる色ムラやポツポツが気になりにくくなるので、無駄に肌を触ることを少なくすることが少なくなります。

居座りジミ⁴にもポツポツにもアプローチし透明感⁵のあるツルツとサラツとした肌に導きます。

トランシーノ 薬用ホワイトニング クリアローションEX



チークをつけたくくなるような透明感のある肌⁶になりたい人におすすめの化粧水。

外的刺激で肌がごわつきやすい人の事を考えて肌なじみがいい工夫がされています。天然チークを気にせず、気になってたチークをつけられるようになります。赤みが気になって隠すがゆえに血色悪くなってしまう人のお勧めの商品です。透明感のあるチークがよく発色しそうな肌になりたい人はぜひ使ってみてください。

³ 持続型ビタミンC誘導体[ビタミンC・2-グルコシド](美白有効成分)、オリーブ葉エキス(保湿)、グレープフルーツエキス(保湿)、ムラサキシキブ果実エキス(保湿)

⁴ 居座りジミとは“メラノドロッパー”というタンパク質が、肌の土台を壊し、メラノサイトごと落下させることで、ケアの効果が現れづらいシミの事。

⁵ 透明感とはキメが整って皮膚にうるおいがある状態の事

⁶ 透明感のある肌とはキメが整って皮膚にうるおいがある肌状態の事

スーッと浸透するので、べたつきが苦手な人でも使いやすい使い心地になっています。

ロゼベ プラセンタ エンリッチ ローション



ファンデがスルスルのびる、なめらか肌にしてくれる化粧水。美白効果を感じながら、肌をしっとり柔らかく整えてくれます。

無理なく続けられるように「高品質」を低価格で試せる、20代におすすめの化粧水。

スーッと浸透するのになめらかな肌感触になれるからファンデをスルスル伸ばしたい人におすすめです。自分の肌に自信をもって自分をもっと好きになりたい人はぜひ使ってみてください。

美白化粧水でスキンケアもメイクも好きになる

美白化粧水は「肌を保湿する」に「美白成分をプラス」しているので使いやすいアイテム。美容液を使っている人も気になる肌悩みにあわせて美白化粧水を選ぶことで、美白⁷効果にも肌悩みにもアプローチすることができます。

「美白⁸のためのファーストステップ」として取り入れやすい美白化粧水。まだまだ先でいいか、と思いながら使わないでいると、どんどん透明感⁹を得るまでに時間がかかってしまいます。

⁷ 美白とはメラニンの生成を抑え、シミ、ソバカスを防ぐこと

⁸ 美白とはメラニンの生成を抑え、シミ、ソバカスを防ぐこと

⁹ 透明感とは、メラニンの生成を抑え、シミ、ソバカスを防ぐこと

日々の積み重ねによって肌状態が左右されるのがスキンケア。あなたの肌を一日でも早くもっと愛せるようになるために、次のスキンケアから美白化粧水を使ってみてください。